

## お薬手帳カバーを活用した情報連携シートについて

医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、医療機関と介護事業所等の関係者との連携体制を構築・推進することを目的とした事業(在宅医療・介護連携推進事業)の一環として「お薬手帳を活用した情報連携シート」を作成しました。

菊陽町では、菊陽町在宅医療・介護連携推進協議会を設置し、医療・介護関係者の連携等について協議を進めております。

### 課題

令和3年に医療・介護職を対象に実施したアンケート調査の結果、医療・介護専門職の大半が連携や顔の見える関係づくりの必要性を感じているが、連携の程度に差があることや、多職種で情報共有を行うことが難しい等の課題が挙げられたことから、以下の対応策を検討しました。

### 対応策

- ・ ICT の活用を推進
- ・ ICT が苦手な人でも活用できる情報共有が容易となる様式の検討  
➡多職種連携のための情報連携シートを作成

### 情報連携シートの活用方法

- ・ お薬手帳のカバーに挟んで利用することで、本人や家族、医療・介護専門職で必要な情報を共有できる。
- ・ 救急搬送の際に救急隊が関係者の連絡先を把握できる。
- ・ 本人の希望や不安を共有することで、生活の質の向上に向けた支援につながる。

### その他

- ・ 本シートは自由に記入していただいて構いません。
- ・ ケアマネジャー主導で記入を行っていただくことを想定したものではなく、本人に関わる多くの関係者で記入・共有していただきたいと考えています。
- ・ 菊陽町に住民票のある、在宅で生活する要介護 1～5 の認定をお持ちの方を対象に、菊陽町地域包括支援センターの窓口で情報連携シートとお薬手帳のカバーを配布しています。  
(お薬手帳のカバーのみの配布は行っていません。)
- ・ 様式は菊陽町ホームページに掲載していますので、追加が必要な場合は下記二次元コードよりダウンロードしてご利用ください。

様式ダウンロードはこちら➡

